

11月の教室学習予定日

2022年11月 ○:教室日、☆:懇談日

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

志手原教室8/9の振替を11/1に行います。

2022年12月 ○:教室日、☆:懇談日

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

フリップあかしあ台教室の8/8の振替を12/29に行います。



……お願い……

★月会費納入期限は、**前月の最終学習日**です。

★退会は事務処理と教材準備の都合上、**退会月の15日までに**お申し出ください。

月・木 フリップあかしあ台教室 火・金 志手原教室

保護者の皆様へ

紅葉がきれいな季節になりました。学校の行事もひと段落したところでしょうか…

さてさて、私を含め保護者の皆様の永遠の課題ともいえる、子どもの叱り方についてです。

子どもを叱ることは、難しいことです。子どものためを思っている、それがゆえに感情が高まってしまいうまく伝わらない、ということが多々あるかと思えます。大切なのは、その理由やどうしてほしいのか「思い」が伝わることです。

感情的にならないために、NGワードをご紹介します。

大人同士のコミュニケーションにあてはまることもあります。

ご参考にいただければと思います。※注

○「前もそうだった」

今とは関係のない、過去の話まで持ち出すと、「なぜいま？」と不信感を招きます。

○「なんで？」「どうして？」

その理由が知りたいわけではないですよ。相手を責めるニュアンスがあります。

○「いつも」「絶対」「必ず」

こういわれると「いつもじゃないのに…」とってしまうでしょう。

相手を決めつけたり、怒りを強調するニュアンスがあります。

○「ちゃんと」「きちんと」「しっかり」

こういった程度を表す言葉を使うと、子どもにとっては『ちゃんと』って何が『ちゃんと』かわからない』となることもあるでしょう。こちらの基準の押し付けになりがちです。

社会のルールを守れなかったり、悪い習慣を直すため、必要なときに毅然とした態度で叱ることは、子どもを守ることに必要です。これらのNGワードに少し気を付けて、子どもたちへ本当の「思い」を伝えたいものです。

※「叱り方の教科書 安藤俊介 総合科学出版」を参照



お誕生日おめでとうございます！

近森 由歩さん 11月17日

※教室に来る前に今一度、鉛筆・消しゴム、そして宿題プリントがそろって入っているのを確かめてお越しく下さい！

秋の無料体験受付中！

11/16(水)～30(水)
2週間体験いただけます。

是非、お友達、お知り合いの方をご紹介します。

幼児・小学生・中学生の新入会生を募集中です。お知り合いの方をご紹介します。弟妹の方は入会金が無料です！

スタッドの教材は基本から応用まで幅広く対応しています。無料で学カテストも行っていきます。この機会に是非体験をご紹介します。

ご紹介いただいた方々には図書券をプレゼントさせていただきます♪